

ISS チャレンジ(SSH 部門)のファイナリスト（最終審査進出者）の研究成果の発表を聴いて、ISS 生の科学研究について評価しましょう。他者の科学研究を正しく理解・解釈して、科学的に判断する力は、科学・技術の恩恵をうけたり、選挙（投票）などを通じて科学政策の決定に関与したりする全ての市民に必要な能力です。この力を自覚的に見極めるためにも、発表者に敬意をもって真摯な態度でファイナリストの研究発表を評価しましょう。

ISS 生の科学研究（課題研究）にはいくつかの観点で、その特徴を評価することができます。

|          | 観 点         | 内容の説明  |
|----------|-------------|--|
| <b>A</b> | 科学的手法が優秀な研究 | 科学研究の方法（調査・実験・分析）が科学的・実証的で秀逸な研究（課題設定と結論の独創性や新規性等は問わない）         |
| <b>B</b> | 社会的影響のある研究  | 実用性のある研究で、実社会（国際的視点も含む）で活用したり応用・発展が期待できる研究                     |
| <b>C</b> | 独創的な研究      | 研究テーマが独創的であったり、研究方法が独創的であるなど、アイデアや発想がユニークな研究                   |
| <b>D</b> | 革新的な研究      | 新奇性があり従来（大人の）の科学研究には見られない常識を超越した研究                             |
| <b>E</b> | 教科的研究       | 数学や理科などの教科の内容や授業で扱う方法に強い関係がある研究                                |
| <b>F</b> | その他         | A～Eにあてはまらない観点の場合はFをいれて、「観点Fの場合の観点」の欄に、評価した観点をキーワードとして記入してください。 |

研究発表毎にその研究発表に最もあてはまると思うものを評価観点 A～F から一つ選び〔評価観点①〕に記号を記入しなさい。〔評価観点①〕で選んだものの他に（次に）あてはまる評価観点がある場合は〔評価観点②〕に記号を記入しなさい。いずれかで観点 F を選んだ場合は、その作品のどのような特長（観点）を評価したのか、キーワードを記入して説明しましょう。

|   | 研究テーマ | 発表者 | 評価観点① | 評価観点② | 観点 F の場合の観点 |
|---|-------|-----|-------|-------|-------------|
| ① |       |     |       |       |             |
| ② |       |     |       |       |             |
| ③ |       |     |       |       |             |
| ④ |       |     |       |       |             |

※修正する場合は、二重線で消して新しい観点を加えてください。

※観点は重複して使用してもかまいませんが、できるだけ他と重ならないようにしましょう。

**感想・考えたことやふりかえりを自由記述で書いてください。**